

目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日: 平成 30年 7月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	事業所理念を常に見えるところに掲示しているが職員全体確実に理念が行き届き また共通の意識を持ち実践しているとは言えない状況もある為 再度理念を意識した業務の在り方について話し合い実践するよう指導する。	各従業員に事業理念を再度理解してもらい日々の業務が理念に基づいているかを意識してもらう。	毎月のフロアー会議にて通常業務において事業所理念に沿っていたのか、沿っていなければどのように対応するかを協議する。	6ヶ月
2	11	従業員が自ら進んで研修を受けたり、会社から研修を受けに行くがそれを完全には共有できていないところがあり、記録の仕方もまちまちである。	各従業員が参加した研修についての有り方、記録等に工夫をして個々のスキルアップに繋げる。	受けた研修の記録、資料等を法令に違反しない範囲でコピーし事務所内での観覧を可能とし、必要なケースについてはフロアー会議等で話し合いの機会を設ける。	12ヶ月
3	35	定期的に避難訓練等を行ってるが不十分な点もあり従業員の災害連絡網において模擬では過去全員に連絡がいきわたるまで10分弱だったがその後トラブル対処に来る時間等を測っていなかった。	連絡網に情報通達後各従業員がどのくらいで施設に来てトラブル対処できるのか時間を測り今後の防災対策の参考にする。	災害連絡網を使い職員に連絡してどのくらいで施設に来れるのか等を計測する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。